

「ATCワーキング」設置要綱

平成 20 年 11 月 18 日

日本証券業協会

1. 設置の趣旨

(財)日本証券経済研究所「日本版ATC研究会」報告書(平成20年9月22日付)の提言に基づき、証券市場の公正かつ健全な発展の観点から、証券市場規制の趣旨を踏まえ、取り組むべき諸課題を幅広く早期に発見し早期に対応するため、自主規制会議の下部機関として、標記ワーキングを設置する。

2. 検討事項

証券市場の公正かつ健全な発展の観点から、証券市場規制の趣旨を踏まえ、取り組むべき課題(注)を幅広く発見するとともに、発見した課題への対応等について検討を行う。

(注)「課題」の例

- ① 既存の法令・規則等に明らかに違反しないものの、現在又は将来において、当該法令・規則等又は証券市場規制全般の趣旨に反し、公正な価格形成や証券の円滑な流通等の証券市場の機能に悪影響を及ぼし、又は証券市場への信頼を損なうことにつながる可能性があるような商品又は市場参加者の行為等
- ② 市場が未発展な新商品・取引等であるため、既存の法令・規則等に明確なルールが存在せず、市場参加者にとって不明確性があり、当該商品や取引等の健全な発展が阻害されている可能性があるもの
- ③ 将来的に発生する可能性があり、発生した場合には市場の運営等に多大な影響を及ぼす可能性があるものの、現時点で対応策が法令・規則等に定められていないため、統一的な対応策を市場参加者全体であらかじめ検討しておくべきであると考えられるもの

3. 構成

- (1) 本ワーキングは、協会員の役職員等及び有識者10名程度をもって構成する。
- (2) 本ワーキングに主査を置く。
- (3) 本ワーキングに副主査を置くことができる。
- (4) 本ワーキングの主査、副主査及び委員(以下「委員等」という。)は、自主規制会議議長が選任する。

(5) 委員等の任期は、7月から翌年6月末日までの間とする。ただし、補欠の委員等の任期は、前任者の残任期間とする。なお、本ワーキング設置の際に選任された委員等の任期は、平成22年6月末日までの間とする。

(6) 本ワーキングには、主査の判断により必要に応じオブザーバーを置くことができる。

4. 運営

(1) 本ワーキングは、定期的に会合を開催する。ただし、必要に応じ、随時開催する。

(2) 本ワーキングは、事案毎に専門的観点から検討を行うため、必要に応じ分科会を設置することができる。

(3) 本ワーキングは、諸課題への対応状況等の検討状況について、適宜、自主規制会議に報告するものとする。

(4) 本ワーキングは、会議の運営に関し必要があると認めるときは、本設置要綱に定めるものを除くほか、別に必要な事項を定めることができる。

5. 事務の所管

本ワーキングの庶務は、本協会 自主規制本部 自主規制企画部が担当する。

以 上

「ATCワーキング」名簿

平成 21 年 2 月
日本証券業協会

| | | | |
|-----|---------|-----------------------|---|
| 主 査 | 大 崎 貞 和 | (野村総合研究所 研究開発センター) | 主 席 研 究 員) |
| 委 員 | 川 本 哲 也 | (大阪証券取引所) | 自主規制本部 自主規制総務グループ グループリーダー |
| 〃 | 岸 田 吉 史 | (野 村 証 券) | 法 務 部 長 文 書 課 |
| 〃 | 葛 島 宗 幸 | (J P モ ル ガ ン 証 券) | 取 締 役 管 理 統 括 本 部 長 |
| 〃 | 雑 賀 基 夫 | (松 井 証 券) | コンプライアンスグループ グループマネージャー |
| 〃 | 武 井 一 浩 | (西村あさひ法律事務所) | パ ー ト ナ ー 弁 護 士 |
| 〃 | 野 口 俊 | (み ず ほ 銀 行) | 証 券 業 務 部 役 参 事 |
| 〃 | 宮 内 幸 雄 | (コ ス モ 証 券) | 執 行 役 員 引受審査担当・企画本部長 |
| 〃 | 宮 司 和 幸 | (東京証券取引所) | 考 査 部 総 務 ・ 企 画 グ ル ー プ グ ル ー プ リ ー ダ ー |
| 〃 | 山 脇 哲 也 | (三 菱 U F J 証 券) | 経 営 企 画 部 長 経 営 企 画 課 |

以 上 10 名
(五十音順・敬称略)

平成21年 3月18日
日本証券業協会

わが国経済の回復と金融・資本市場の安定化に資するために考えられる緊急的な施策として、本協会の会員からは、以下のような提言が寄せられている。

本協会としては、金融・資本市場の機能の向上と信認の確保に全力で取り組む所存である。

関係各方面におかれては、当面の証券市場に対する緊急的な施策の策定に当たり、これらの提言を積極的にご検討していただきたい。

I. 内需拡大策の積極展開

- 景気回復の道筋が明確になり、企業活動や収益についての見通しが明るくなってくるのが株式市況回復の基本的条件であり、内需の拡大、雇用の確保・創出、金融緩和等の基本的施策が今後とも積極的に展開されることを望みたい。

II. 株式市場

- ETF(上場投資信託)に転換可能な政府保証債の発行
- 銀行等保有株式取得機構による買取り対象のETF(上場投資信託)、REIT(不動産投資信託)への拡大
- 個人の上場株式等の保有等に関する税制措置
 - ・ 現行の上場株式等の譲渡益課税及び配当課税の軽減措置(税率 10%)の恒久化、配当の二重課税の排除の徹底のための措置
 - ・ 時限を設けた上での上場株式等を取得した場合の所得控除措置
 - ・ 金融所得一体化の推進
 - ・ 納税者番号制度の積極的な検討
- 個人の上場株式等に対する相続税・贈与税等に対する税制措置
 - ・ 上場株式等に対する評価の特例(相続・贈与時以後に価格が下落した場合の評価額の引下げ)
 - ・ 3年間に取得した場合の相続税・贈与税の時限的な減税

- ・ 贈与税の非課税枠の拡充 等。

Ⅲ. 社債市場

- 「社債市場活性化協議会」(仮称)の設置
- 社債等に対する公的保証の拡充

その他投資家の利便性向上のための措置等。

重要インフラ連絡協議会（CEPTOAR-Council）の創設について

平成 21 年 3 月 17 日

日本証券業協会

平成 17 年 12 月 13 日 内閣官房情報セキュリティ政策会議において決定された「重要インフラの情報セキュリティ対策に係る行動計画」について、4つの柱の施策として、官民の緊密な連携のもと、①「安全基準等」の整備、②情報共有体制の構築、③分野横断的演習の実施、④相互依存性解析の実施、に取り組んでいる。

そのひとつとして、情報共有体制の構築が挙げられており、重要インフラ各分野のセプターが連携して重要インフラ連絡協議会（CEPTOAR-Council）（以下「セプターカウンスル」という。）を創設することとし、平成 21 年 2 月 26 日にセプターカウンスル設立総会が開催された。

セプターカウンスルにおいては、各セプター及び内閣官房情報セキュリティセンターが各々の役割に応じた主体的な判断により連携するとともに、分野横断的な情報共有を推進することにより、重要インフラ事業者等におけるサービスの維持・復旧能力の向上に資することを目的としている。

本総会において、セプターカウンスル総会議長に財団法人 日本データ通信協会 テレコム・アイザック推進会議 会長 伊藤 泰彦氏（T-CEPTOAR 代表者）、副議長に日本証券業協会専務理事 兼 CIO 大久保 良夫（証券 CEPTOAR 代表者）が選出された。詳細については、別添のとおり報告する。

以 上

セプターカウンシル
平成 21 年 2 月 26 日

セプターカウンシルの創設について

重要インフラの情報セキュリティ対策の向上を図るため、重要インフラ各分野のセプター*が連携してセプターカウンシルを創設することとし、本日、設立総会を開催しました。

セプターカウンシルは、政府機関を含め、他の機関の下位に位置付けられるものではなく、独立した会議体として、各セプターの主体的な判断により、分野横断的な情報共有等の連携を推進します。

セプターカウンシル総会議長には伊藤氏（T-CEPTOAR代表者）、副議長には大久保氏（証券CEPTOAR代表者）を選出しました。

[連絡先]

セプターカウンシル事務局

内閣官房情報セキュリティセンター

電話 : 03-3581-3820

FAX : 03-5512-2918

メール : CEPTOAR-Council@cas.go.jp

* セプター（CEPTOAR: Capability for Engineering of Protection, Technical Operation, Analysis and Response）とは、重要インフラ分野毎に整備された情報共有・分析機能の呼称です。

1 ねらい

重要インフラにおいては、情報システムの機能不全による障害が、国民生活や社会経済活動に重大な影響を及ぼさないよう対策を進めており、その一環として重要インフラ分野毎に、IT障害への対策の向上のための情報共有・分析機能（セプター）が整備されています。

重要インフラの情報セキュリティ対策を一層強化していくためには、分野横断的な情報共有の推進を図り、多様な知見をサービスの維持・復旧に活かしていく事が重要です。そのため、各セプターから構成されるセプターカOUNCILを設立し、政府機関から独立した会議体として、重要インフラ事業者等におけるサービスの維持・復旧能力の向上を促進することとしました。

2 活動

セプターカOUNCILは以下の活動に取り組めます。

- (1) 分野横断的な情報共有の推進
- (2) 重要インフラのIT障害の未然防止等のための情報共有体制の調整及び管理
- (3) 分野横断的な共通課題の発見及び共通認識の醸成

3 構成等

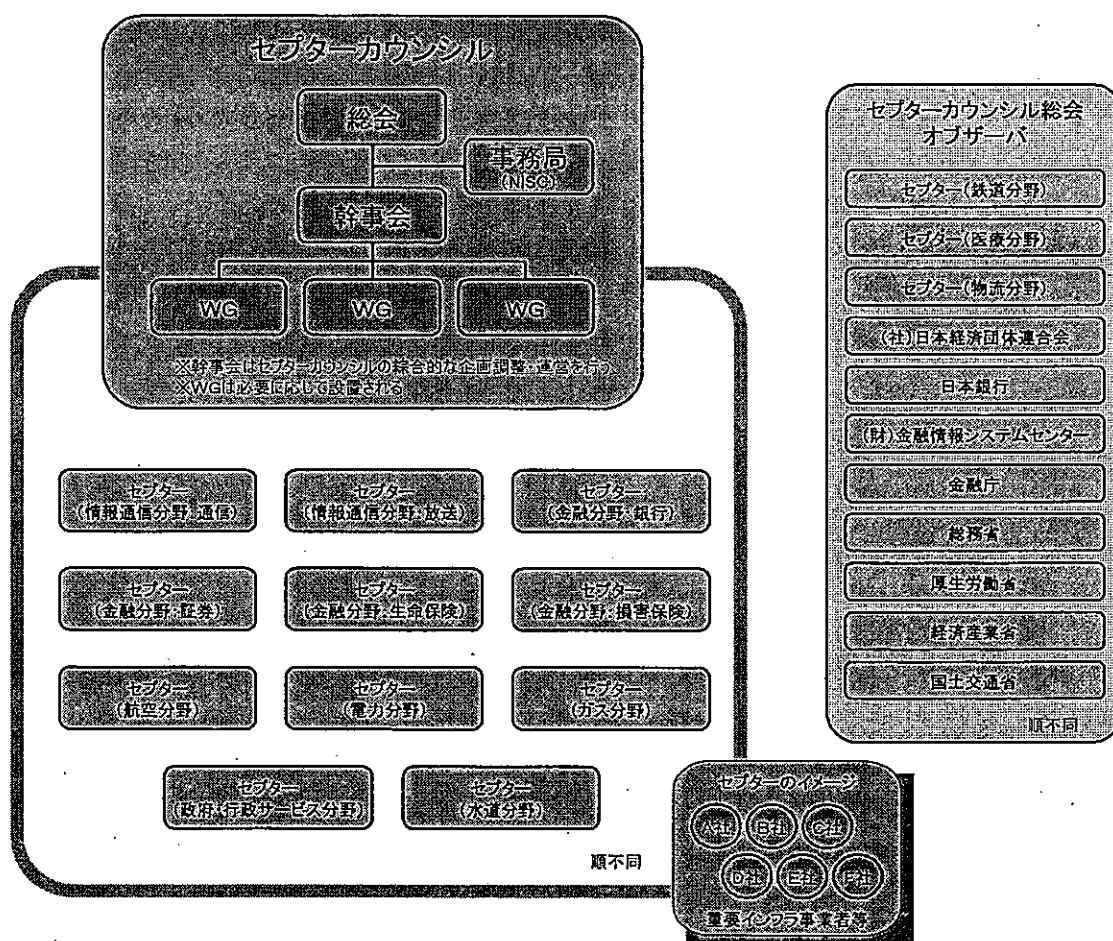
セプターカOUNCILを構成するセプターと、総会の構成員は以下のとおりです。

| セプター名 | 所属 | 氏名 |
|----------------------------|------------------|------------------------------------|
| 情報通信 | T-CEPTOAR | 伊藤 泰彦 (KDDI(株)代表取締役 執行役員副社長) |
| | 放送における 情報共有体制 | 工藤 俊一郎 |
| 金融 | 銀行等CEPTOAR | 島田 秀男 (三井住友銀行 専務取締役) |
| | 証券CEPTOAR | 大久保 良夫 |
| | 生命保険 CEPTOAR | 高松 則雄 (住友生命保険(株) 常務取締役) |
| | 損害保険 CEPTOAR | 竹井 直樹 |
| 航空分野におけるCEPTOAR | 定期航空協会 IT専門委員代表 | 宮島 理一郎 |
| 電力におけるIT障害に係る 情報共有・分析機能 | 電気事業連合会 情報通信部長 | 竹原 秀臣 |
| GAS CEPTOAR | (社) 日本ガス協会 技術部長 | 山川 浩之 |
| 自治体CEPTOAR | (財)地方自治情報センター 理事 | 須貝 俊司 |
| 水道CEPTOAR | (社)日本水道協会 総務部長 | 秋元 康夫 |

総会のオブザーバは以下のとおりです。

- ・ 鉄道 CEPTOAR
- ・ 医療 CEPTOAR
- ・ 物流 CEPTOAR
- ・ (社) 日本経済団体連合会
- ・ 日本銀行
- ・ (財) 金融情報システムセンター
- ・ 金融庁、総務省、厚生労働省、経済産業省、国土交通省

なお、事務局については、当分の間、内閣官房情報セキュリティセンターが務めます。



4 参考：これまでの経緯

これまでの検討経緯は以下のとおりです。

| | |
|---------|--|
| 2005 年度 | 「重要インフラの情報セキュリティ対策に係る行動計画」(2005 年 12 月 13 日情報セキュリティ政策会議決定)において、情報セキュリティ対策の強化のための諸施策が決定された。同計画には、重要インフラの 10 分野(情報通信、金融、航空、鉄道、電力、ガス、政府・行政、医療、水道、物流)のそれぞれに情報共有・分析機能(セプター)を設置し、また分野横断的情報共有のためにセプターからなる「重要インフラ連絡協議会(セプターカウンスル)」を 2008 年度末までに創設すること、などが盛り込まれた。 |
| 2006 年度 | 重要インフラ 10 分野でセプターの整備が着手された。うち 7 分野でセプターの整備が完了した。 |
| 2007 年度 | 3 分野でセプターの整備が完了し、重要インフラ 10 分野の全ての分野でセプターが整備された。また、「セプターカウンスル創設に向けた検討の場」が設置され、セプターの間でセプターカウンスル創設の基本的合意が得られた。 |
| 2008 年度 | 「セプターカウンスル創設に向けた検討の場」を「セプターカウンスル創設準備会」に改組し、セプターカウンスルの設置要綱等の検討が着手された。2009 年 2 月 26 日にセプターカウンスルが創設された。 |

5 連絡先

セプターカウンスルへの問合せは事務局までお願いします。各セプターでは対応をいたしかねますので御注意ください。

セプターカウンスル事務局
内閣官房情報セキュリティセンター
電話 : 03-3581-3820
FAX : 03-5512-2918
メール : CEPTOAR-Council @cas.go.jp

2008 年度分野横断的演習について

平成 21 年 3 月 17 日
日 本 証 券 業 協 会

重要インフラの情報セキュリティ対策に係る行動計画（平成 17 年 12 月 13 日 内閣官房情報セキュリティ政策会議決定）において、4 つの柱の施策として、官民の緊密な連携のもと、①「安全基準等」の整備、②情報共有体制の構築、③分野横断的演習の実施、④相互依存性解析の実施、に取り組んでおり、そのひとつとして、分野横断的演習の実施が挙げられている。

分野横断的演習は、IT 障害発生時における重要インフラサービスの維持・早期復旧及び事業継続等に向けた課題抽出を目的として、重要インフラ所管省庁、各セクター、重要インフラ事業者等が参加し、2006 年度から毎年実施している。2008 年度の演習の状況について、以下のとおり報告する^{注1}。

1. 2008 年度の演習の目的

IT 障害発生時における重要インフラのサービスの維持・早期復旧や事業継続等に向けた課題抽出

2. 検証対象

重要インフラ事業者等、セクター、関係機関、重要インフラ所管省庁及び内閣官房情報セキュリティセンターから成る情報共有の仕組み全体を対象

3. 検証課題

- (1) 緊急時の官民の情報共有、連絡・連携の仕組みの実効性確保
- (2) 平時における官民・事業者間の連絡・連携の状況
- (3) 緊急時の各主体における IT 障害への対応要領・手順の確認
- (4) 相互依存性解析の結果
- (5) 実施細目^{注2}の見直しに向けた課題の抽出

4. 実施日時

2008 年 12 月 1 日（月） 12:30～18:30

5. 参加者

プレイヤー、事務局等を合わせて 136 名が参加

注1 内閣官房情報セキュリティセンター作成の資料に基づき事務局にて作成

注2 「重要インフラの情報セキュリティ対策に係る行動計画」の情報連絡・情報提供に関する実施細目

(政府)

内閣官房情報セキュリティセンター（以下「NISC」という。）、重要インフラ所管省庁
(重要インフラ分野：10分野)

情報通信、金融、航空、鉄道、電力、ガス、政府・行政サービス、医療、水道、物流
(セプター：10分野14セプター)

通信、放送、証券、銀行、生保、損保、航空、鉄道、電力、ガス、政府・行政サービス、医療、水道、物流

(関係機関)

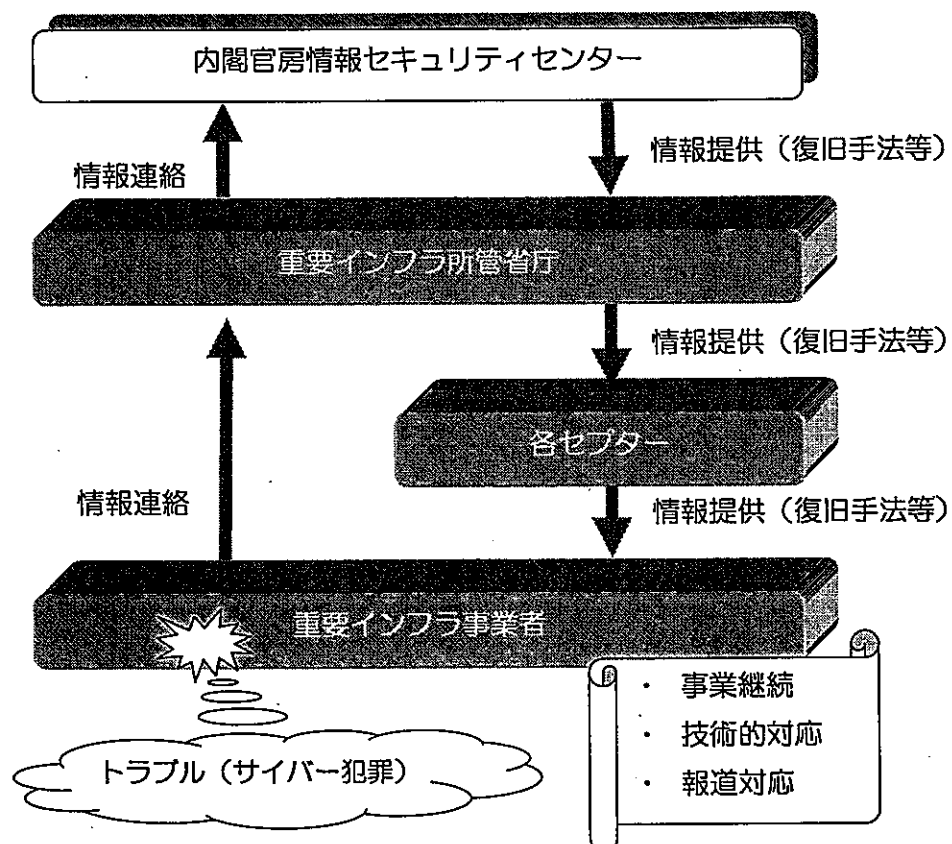
(株)三菱総合研究所

(有識者)

大林 厚臣 慶応義塾大学教授（内閣官房重要インフラ分野横断的演習検討会座長）他

6. 実施内容の概要

- (1) 各分野あるいは事業者毎に、メール、電話、Web ページを用いて情報共有を実施
- (2) 詳細シナリオは事務局（NISC）のみが把握し、プレイヤーにはトラブルの状況付与のみを行う（原因は伏せてある）という現実に近い状況で実施
- (3) 演習終了後、意見交換会を実施



7. 検証結果

- (1) 状況に応じた情報連絡、情報提供が行われ、現在の官民の情報共有体制が概ね有効に機能していることが確認された。
- (2) 情報共有体制の更なる実効性向上のため、緊急時に共有すべき情報の内容や IT 障害発生時の各主体の対応等について、引き続き検討を進めていく必要性が認識された。

8. 今後の展開

事務局（NISC）にて、実施内容及び検証結果を報告書として取りまとめ、内閣官房情報セキュリティ政策会議へ報告の後、公表する予定である。

演習で得られた成果は、官民の情報共有体制の強化策の検討に役立てるとともに、各事業者において情報セキュリティ対策の向上に向けた取り組みに活用されることが期待される。

以 上

「証券会社情報セキュリティワーキング」の設置について

平成 21 年 3 月 13 日
日本証券業協会

1. 趣 旨

近年の急速なIT及びネットワークの発展に伴い、証券業界においても情報システムは広く浸透し、業務の効率化、サービスの高度化、利便性の向上などをもたらしてきた。一方、このような情報システムへの依存が高まるにつれ、ひとたび障害が発生し、機能の停止、低下に至った場合の影響は大きく、適切な情報セキュリティ対策の必要性が高まっている。

証券会社最高情報責任者(CIO)会議では、こうした状況を踏まえ、証券会社のシステムの安全対策等の施策について検討するため、同会議のもとに「証券会社情報セキュリティワーキング」を設置する。

2. テーマ

証券会社のシステムの安全対策等について、業容及び規模に応じた適切な対応が図られることを目的とし、例えば、次に掲げる事項について具体策の検討を行う。

- (1) IT障害に係る未然防止、拡大防止及び再発防止の取り組みについて
- (2) システムの安全対策(例えば、安全対策基準に係る検討、暗号の 2010 年問題、フィッシング等のサイバー犯罪対策等)の取り組みについて
- (3) 内閣官房において策定された「重要インフラの情報セキュリティ対策に係る行動計画」に基づく証券CEPTOAR(Capability for Engineering of Protection, Technical Operation, Analysis and Response)の取り組みについて
- (4) その他

3. 構 成

- (1) 本ワーキングは、委員 20 名程度で構成する。
- (2) 委員は、会員の役職員のうちから、証券会社最高情報責任者(CIO)会議議長が委嘱する。

4. 運 営

- (1) 委員の任期は1年とする。
- (2) 本ワーキングに主査及び副主査を置く。
- (3) 主査は、必要に応じ、他の関係者の出席を求め、意見を求めることができる。

5. 事務局

本ワーキングの事務局は、IT管理部が担当する。

以 上

「日本証券サミット (Japan Securities Summit)」の様様について

平成 21 年 3 月 17 日

日本証券業協会

1. 去る 3 月 5 日 (木)、香港において「日本証券サミット」を開催した¹。本イベントの概要は以下のとおり。

名 称：日本証券サミット (Japan Securities Summit)

主 催：日本証券業協会

香港証券業協会 (Hong Kong Stockbrokers Association)

開催期日：2009 年 3 月 5 日 (木)

開催場所：香港 Four Seasons Hotel

最終プログラム：別添 1 のとおり

2. 本イベントは、世界中が深刻な経済状況にあり株式市場も低迷する中で開催されたが、香港の証券会社、金融機関、機関投資家を中心に、300 名を超える参加者（他にプレス関係者約 20 名）が来場した。メインランド中国の証券会社、機関投資家も若干名参加した。（別添 2 参照）。
3. 昨年のロンドンと同様、今回のセミナーにおいても、日本の証券市場の幅広いトピックを取り上げ、基調講演をお願いした奥田 碩トヨタ自動車取締役相談役をはじめ、日本の証券業界のトップ、第一線で活躍するエコノミスト、ストラテジスト、政府当局（金融庁、経済産業省）、学識経験者、会計専門家らが香港の業界のトップ、機関投資家、金融専門家らと活発な議論を展開した。
4. セミナーでは、特に、日本経済の現状について、輸出主体の製造業に牽引される経済であり、世界経済の落ち込みの影響を強く受けていること、高齢化と頭打ちの人口により内需の急速な拡大には限界があることなどが指摘された反面、
 - 1) 日本企業は R & D (research and development) に経営資源を重点的に振り向けており、電子部品、化学樹脂、炭素素材、環境保護などの面で他の追随を許さない高い技術力を有する企業が多数存在すること、
 - 2) 在庫調整が急速に進んでいることから、一たび需要が戻れば早期に生産も

¹平成 19 年 4 月に本協会が公表した「今後の金融・資本市場のあり方を考える懇談会」の中間報告において、東京市場の国際化の観点から、我が国の実情や取組みについて官民一体となった海外への積極的な PR が不可欠であるとしており、海外でのセミナー開催が提言された。これを踏まえ、昨年 1 月、第 1 回日本証券サミットをロンドンにおいて開催した。

上向くと期待されること、

3) 最近 10 年間に株主重視の経営姿勢が広がり、社外取締役を置く企業が増えるなどコーポレート・ガバナンスの改善が進んでいること、

4) 市場規制の改善が進み、取引所も、新商品や新たな取引プラットフォームの導入やシステムの高速化を進めていることなど、

投資対象及び取引の場としての日本市場の可能性・将来性を参加者にアピールした。

5. 本イベントには、目標とした約 300 名の参加者が得られたほか、レセプション等の場においても、参加者間で活発な交流が行われた。来場した参加者からも、本イベントの開催を評価する声が多く寄せられている（別添 2 参照）。

また、本協会としても、本イベントを共催した香港証券業協会をはじめ、現地の業界・関連団体（証券取引所、証券研究所、商工会議所等）における日本市場に対する関心を高め、より緊密な協力関係を築くことができたと評価している。

以 上

(別添1) プログラム

2009年3月5日(木)

(司会 キャンター・フィッツジェラルド アジア大洋州地域 CEO アンジェリーナ・クワン 氏)

9:30 主催者挨拶

香港証券業協会会長 ケニー・リー 氏

日本証券業協会会長 安東 俊夫

9:40 基調講演

(プレゼンター) トヨタ自動車(株) 取締役相談役 奥田 碩 氏

10:10 【パネル1】 日本の経済、株式市場、金融市場の動向

(モデレーター) 野村證券金融経済研究所チーフ・ストラテジスト 岩澤 誠一郎 氏

(パネリスト) CLSAチーフ・エコノミスト エリック・フィッシュウィック 氏

HSBC証券調査部チーフ・エコノミスト 白石 誠司 氏

Robeco シニア・ポートフォリオ・マネジャー ハフン・グエン 氏

11:10 休 憩

11:30 【パネル2】 取引所の営業戦略

(モデレーター) 野村総合研究所主席研究員 大崎 貞和 氏

(パネリスト) 香港証券取引所チーフ・エグゼクティブ・ポール・チョウ 氏

東京証券取引所グループ 代表執行役社長 斉藤 惇 氏

大阪証券取引所常務執行役員 山澤 光太郎 氏

12:30 昼 食

14:00 【パネル3】 日本の会計基準

(プレゼンター) 企業会計基準委員会委員 新井 武広 氏

14:40 【パネル4】 市場規制/投資法制

(モデレーター) 東京大学教授 神田 秀樹 氏

(パネリスト) 証券取引等監視委員会総務課長 佐々木 清隆 氏

経済産業省経済産業政策局産業組織課長 新原 浩朗 氏

Taifook 証券グループ マネジング・ディレクター&CEO ピーター・ウオン 氏

15:50 休 憩

16:10 【パネル5】 投資先としての日本

(モデレーター) ドイツ証券調査本部長 ホーランド・フォクス 氏

(パネリスト) ファイナリティ・ジャパン・ホールディングス副会長 蔵元 康雄 氏

マッコーリー・キャピタル証券調査部ストラテジー・ディレクター ピーター・イトン・クラーク 氏

ファイナシヤル・リスク・マネジメント香港 CEO キング・オウ 氏

17:20 閉会の辞

大和証券SMBC常務執行役員 石田 茂 氏

17:30 レセプション

(主催者挨拶) 日本証券業協会専務理事 大久保 良夫

(ゲストスピーチ) 在香港日本国総領事 佐藤 重和 氏

(別添2)

日本証券サミット（於香港）（参加者の内訳、感想等）

1. 参加者の内訳

| | |
|---------------------|-------|
| 証券会社・金融機関 | 173 |
| （含．日系証券会社・金融機関の現地法人 | 30） |
| 機関投資家・ヘッジファンド | 57 |
| 香港の政府関係者・取引所・公共団体 | 22 |
| 会計・法律事務所 | 8 |
| 大学・研究機関 | 5 |
| 日証協会員会社 | 17 |
| その他一般企業、個人投資家 | 20 |
| 参加者全体 | 計 302 |

2. 参加者の評価、感想

参加者へのアンケート調査を行ったところ、本イベント全体の評価として、回答者全員が期待を満たすものとの評価であった。

また、イベントに対する感想として、

「イベントはよく企画されており、日本市場に対する参加者の関心をかき立てるものであった。各スピーカーも、日本市場に関する情報を詳細かつ明確に提供した。」

「主要金融機関の役員が参加しており、有益なイベントであった。」

「日本の証券市場についての理解を深めるいい機会となった。」

「日本を外国人投資家に売り込むのなら、もっとアグレッシブなやり方を考えるべきだ。」

「潜在力のある日本企業について、更に深い議論があれば、もっとよかった。」

「デリバティブ取引、例えば、日本におけるオプション取引のマーケット・メイカーについて聞いたかった。」

等のコメント、指摘があった。

以 上

MARCH 5, 2009

Presented by Japan Securities Dealers Association (JSDA)
and Hong Kong Stockbrokers Association (HKSA)

Japan Securities Summit

Japan's New Investment Horizons — Opportunities Amid and Beyond Turmoil

EVENT GUIDE

Presented by:



The Japan Securities Dealers Association (JSDA) and the Hong Kong Stockbrokers Association (HKSA) are delighted to present the Japan Securities Summit to be held in Hong Kong on March 5, 2009 at Four Seasons Hotel, Hong Kong.

This conference aims to provide market professionals and investors with the opportunity to better understand the Japanese securities market as an effective trading venue as well as the attractiveness of Japan as an investment choice. Amid the current critical situation in the world financial arena, the event will give the audience a chance to review Japan's potential and examine possibilities for the future.

CONTENTS

- Event programme PAGE 1
- Speaker biographies PAGE 3
- About the organisers PAGE 3

www.japan-securities-summit.jp

Event programme

THURSDAY, MARCH 5, 2009

All coffee breaks and lunch will be available in the Grand Ballroom Foyer.

9:00 Arrival, registration and coffee

Conference MC

Angelina Kwan, *Chief Operating Officer, Asia Pacific, Cantor Fitzgerald*

9:30 Opening remarks

Kenny Lee, *Chairman, Hong Kong Stockbrokers Association*

Toshio Ando, *Chairman, Japan Securities Dealers Association*

9:40 Keynote Speech

Hiroshi Okuda, *Senior Advisor, Member of the Board, Toyota Motor Corporation*

The Japanese economy and industry are embroiled in the global turmoil. What strategies and measures should be taken to struggle out of this predicament? In the longer term, can Japan take a role in bringing the world economy back to normal and to contribute to sustainable growth in Asia? Mr. Hiroshi Okuda, a highly prominent leader of Japanese industry, delivers his views on the current Japanese economy and its expected future roles in the world, particularly in Asia.

10:10 Panel 1:

Overview of Japanese Economy and Financial / Capital Markets

The financial turmoil stemming from the United States is affecting the world and Japanese economies. In October last year, the Nikkei 225 hit 7,162.90 (daily closing price), renewing the market bottom experienced after the bursting of the economic bubble. The yen has appreciated substantially. The downturn in industrial production reflects Japanese manufacturers' adjusting their production in response to the rapid deterioration in demand both at home and abroad. This panel is intended to show the real and latest situations in Japan's economy as well as its stock, money and foreign exchange markets. How will Japan overcome the current economic turmoil? What will be the impact on the yen? This roundtable of economists will discuss these and other key topics that will be of great interest to investors.

Moderator

Selichiro Iwasawa, *Chief Strategist, Financial & Economic Research Center, Nomura Securities*

Panelists

Eric Fishwick, *Chief Economist, CLSA*

Seiji Shiraiishi, *Chief Economist, HSBC Securities (Japan)*

Hartun Ven, *Senior Portfolio Manager, Asia Pacific Equities, Robeco Hong Kong*

11:10 Coffee break

11:30 Panel 2:

Business Strategies of Stock Exchanges

Each of the major exchanges in Japan and Hong Kong - the Tokyo Stock Exchange (TSE), Osaka Securities Exchange (OSE), and Hong Kong Exchanges and Clearing (HKEx) - offers its own unique advantages. TSE, one of the world's largest exchanges, offers a comprehensive range of services as securities market

infrastructure. OSE boasts advantages and a significant share in on-exchange derivative transactions such as Nikkei 225 Futures and Options, recently making JASDAQ its subsidiary. HKEx is the operator and frontline regulator of the central securities and derivatives marketplace in Hong Kong and also functions as a gateway to Mainland China. In this session, top management of each exchange will brief participants on the distinctive operations of each market as well as their future strategies beyond the current financial crisis.

Moderator
Sadakazu Osaki, *Head of Research, Center for Knowledge Exchange & Creation, Nomura Research Institute*

Panelists
Paul Chow, *Chief Executive, Hong Kong Exchanges and Clearing*
Atsushi Saito, *President & CEO, Tokyo Stock Exchange Group*
Kotaro Yamazawa, *Senior Executive Officer, Osaka Securities Exchange*

12:30 Lunch

14:00 Panel 3:

Japanese Accounting Standards - The next step toward global convergence -

The Accounting Standards Board of Japan (ASBJ) has been steadily working on initiatives toward convergence with International Financial Reporting Standards (IFRSs), in accordance with the Tokyo Agreement with the International Accounting Standards Board in August 2008 and its Project Plan updated in September 2008. Meanwhile, in December 2008, the European Commission determined the Japanese GAAPs (Generally Accepted Accounting Principles) to be equivalent to IFRSs adopted by the European Union. Based on these recent developments, an ASBJ expert reviews the present situation and future prospects of Japanese accounting standards. He will also touch upon the discussion regarding the potential use of IFRSs by Japanese companies.

Speaker
Takehiro Arai, *Board Member, Accounting Standards Board of Japan*

14:40 Panel 4:

Legal and Regulatory Aspects for the Japanese Capital Markets

What are the characteristics in the current legal and regulatory landscape for the Japanese capital markets? What should be the issues for future reform to further ensure market confidence and investor protection? This panel will discuss recent trends in the capital market regulation in Japan. In particular, issues relating to corporate governance and M&As, including defense measures against hostile takeovers will be addressed. A view from Hong Kong will also be presented.

Moderator
Hideki Kanda, *Professor of Law, University of Tokyo*

Panelists
Kiyotaka Sasaki, *Director, Strategy and Policy Coordination Division, Securities and Exchange Surveillance Commission*

Hiroaki Niihara, *Director, Corporate System Division, Economic and Industrial Policy Bureau, Ministry of Economy, Trade and Industry*

Peter Wong, *Managing Director and Chief Executive, Taifook Securities Group*

15:50 Coffee break

16:10 Panel 5: Investment in Japan

Is Japan an attractive investment choice under the current global economic environment? Japanese industries have been producing many high quality products at competitive prices for world markets. A number of leading enterprises that are competitive in international markets have potential for further growth. It is also pointed out that, among the various types of stakeholders, Japanese companies are recently giving higher priority to shareholders value. Many companies are actively implementing share buybacks and maintaining, or even increasing, the level of dividends despite the current profit decline. In this panel, strategists who are active in the front line of securities markets discuss opportunities and risks of investments in Japanese enterprises and their strategies for investing in Japan.

Moderator
Orlando Faulks, *Managing Director, Head of Global Markets Research, Deutsche Securities*

Panelists
Yasuo Kuramoto, *Director & Vice Chairman, Fidelity Japan Holdings*

Peter Eadon-Clarke, *Director of Strategy, Macquarie Capital Securities (Japan)*

King Au, *CEO, FRM Hong Kong*

17:20 Closing remarks

Shigeru Ishida, *Senior Executive Officer, Head of Asia & Oceania, Daiwa Securities SMBC*

17:30 Close of the conference

Delegates are requested to make their way to the Grand Ballroom Foyer for the opening of the evening cocktail reception.

17:30 Evening cocktail reception

The evening cocktail reception will take place in the Grand Ballroom Foyer. Entry is reserved exclusively for registered participants.

17:35 Greeting

Toshio Ando, *Chairman, Japan Securities Dealers Association*

17:40 Guest speech

Shigekazu Sato, *Consul General and Ambassador*

Speaker biographies



Kenny Lee

Chairman
Hong Kong Stockbrokers Association

Kenny Lee is the Chief Executive Officer of First China Financial Holdings Limited, a listed financial services company in Hong Kong and the Chairman of Hong Kong Stockbrokers Association (HKSA).

Mr. Lee has over 20 years of experience in the financial service sector and is a licensed person involving in the regulated business in securities dealing, future trading, corporate finance and asset management in Hong Kong.

Mr. Lee was a Council Member of the Stock Exchange of Hong Kong Limited from 1997 to 1999 and a Committee Member of the Chinese Gold and Silver Exchange Society from 1994 to 1999.

Mr. Lee is currently a member of Financial Services Advisory Committee of Trade Development Council in Hong Kong and a member of Investor Education Advisory Committee of Securities and Futures Commission in Hong Kong. Mr. Lee holds a Master of Arts Degree in Accounting and Finance, and is a fellow member of the Hong Kong Institute of Certified Public Accountants.



Toshio Ando

Chairman
Japan Securities Dealers Association

Toshio Ando has been Chairman of Japan Securities Dealers Association since July 2006. Prior to assuming his current position, he had more than 30 years experience with the Japanese securities industry.

Mr. Ando began his career with Nomura Securities Co., Ltd. in 1974. In 1999, he became Managing Director, and, from 2000 to 2002, served as Executive Managing Director of the company. During this tenure, he was appointed as Director and Member of the Board of Nomura Holdings, Inc. in October 2001.

In April 2002, Mr. Ando moved to the position of Chairman of Nomura Asset Management Co., Ltd. From June 2003 to June 2006, he held the concurrent positions of Representative Executive Officer of the company and Chairman of Investment Trust Association, Japan.

Born in 1949, Mr. Ando studied Law at Keio University and holds a BA in Law from that university.



Hiroshi Okuda

Senior Advisor, Member of the Board
Toyota Motor Corporation

Hiroshi Okuda joined Toyota Motor Corporation (TMC) in 1955 upon earning a degree in business from Hitotsubashi University. After spending the first part of his career in the Accounting Division, Mr. Okuda was mainly involved in the company's operations in Asian

areas. He was named a Director of the company in 1982.

Mr. Okuda became a Managing Director in 1987, a Senior Managing Director in 1988 and an Executive Vice President in 1992. He served as President from 1995 to 1999 and assumed duties as Chairman from 1999 to 2006.

In 1999, Mr. Okuda became Chairman of the Japan Federation of Employers' Associations (Nikkeiren). He also became Chairman of the Japan Motor Industrial Federation in 2000, and Chairman of the Japan Automobile Manufacturers Association (JAMA) from 2000 to 2002. He also was Chairman of the Japan Business Federation (Nippon Keidanren) from 2002 to 2006. In June 2006, he was named TMC's Senior Advisor, Member of the Board, and Nippon Keidanren's Honorary Chairman. He was a Special Advisor to the Cabinet between December 2007 and October 2008.



Angelina Kwan

Chief Operating Officer
Cantor Fitzgerald

Angelina Kwan is the COO for Cantor Fitzgerald and is responsible for all operating aspects of the company's existing businesses and future ventures in the Asia Pacific region. Prior to joining the Group, she was with the Hong Kong Securities and Futures

Commission for almost 8 years. There she was a Director of the Supervision of Markets Division as well as a Director of Enforcement. Ms. Kwan has over 23 years of experience in Management, Regulation, Compliance, Audit and Internal Audit across a wide range of businesses in both Asia and the US.

A Certified Public Accountant both in Hong Kong and the United States, Ms. Kwan holds a Bachelor of Science in Business Administration (Accounting), an MBA (Finance) and a Bachelor of Laws. She is an Honorary Professor of Finance for the Hong Kong Polytechnic University, a SFC appointed Director and Fellow of the Hong Kong Securities Institute and lectures frequently for Hong Kong University, Hong Kong Securities Institute, Asian Development Bank, and other international regulatory organizations.

Speaker biographies



Seiichiro Iwasawa

*Chief Strategist
Nomura Securities*

Seiichiro Iwasawa joined Nomura Research Institute in 1987 after graduating from Waseda University with a B.A. in Political Economics.

After studying abroad at Harvard University where he received a Ph.D. in Behavioral Economics,

Dr. Iwasawa returned to Japan and joined the Financial & Economic Research Center of Nomura Securities Co., Ltd. in April 2004 where he currently works in Investment Strategy Department.

Dr. Iwasawa at present focuses on Japanese equity investment strategy. He performs economic, psychological and chart-based analysis and also aims to use intuition and experience to predict developments on the Japanese stock market. His approach seeks to provide fresh, useful, and convincing arguments regarding individual stock selection.



Eric Fishwick

*Head of Economic Research
CLSA Limited*

Eric Fishwick joined CLSA in July 1999 and has 14 years experience in financial markets, on equities side with CLSA and previously with the Industrial Bank of Japan (1991-96) and Nikko Europe (1997-98) in fixed income.

Eric holds an MA in Economics and an MPhil in International Relations from the University of Cambridge. Before working in broking, Eric was a permanent advisor to the House of Commons, London.



Seiji Shiraishi

*Chief Economist
HSBC*

Seiji Shiraishi is HSBC's Chief Economist for Japan. In his role, Mr. Shiraishi is responsible for macroeconomic forecasting for Japan, including the outlook for monetary policy, interest rates and the bond market. He joined HSBC in April 2007 with almost 15 years

experience as an economist covering the Japanese bond markets.

Prior to joining HSBC, he worked for Daiwa Securities SMBC where he served as Chief Market Economist in the fixed income department from April 2001 to March 2007. Since 2004, he has been ranked as one of Japan's leading economists for 4 consecutive years in the Nikkei Bonds & Financial Weekly annual economist rankings. He has been a member of the regular interview committee of Cabinet Office since FY2006.



Harfun Ven

*Senior Portfolio Manager
Robeco Hong Kong*

Harfun Ven is a Senior Portfolio Manager and a member of the Asia-Pacific team with Robeco. Prior to joining Robeco in June 2008, he was a Portfolio Manager at Alliance Trust running sizable Japanese equity portfolios. Mr. Ven also managed Premier Alliance

Trust Japan Equity, a top-quartile ranked fund. Before that, he spent 6 years with Bowen Capital Management managing both Japan-only and Asia-Pacific funds. Mr. Ven has 11 years of equity investment experience. Having grown up in Japan, he fluently speaks Japanese, Cantonese and English. Mr. Ven holds an MBA from Boston University and a BSc degree from the University of Massachusetts.

Speaker biographies



Sadakazu Osaki

*Head of Research
Center for Knowledge
Exchange & Creation,
Nomura Research Institute
Visiting Professor
University of Tokyo Law School*

Sadakazu Osaki specializes in regulation of capital markets, and has been studying US and EU regulations in comparison with

Japan. He has published several books and articles on Japanese regulation and its reforms mainly in Japanese. In addition to his job in Nomura and in the University of Tokyo, he holds a post of Visiting Professor at Waseda Business School. He also holds official positions as member of FSA Financial System Council, and METI Industrial Structure Council. His English publications includes "Insider Trading: Global Developments and Analysis" (CRC Press, 2009, co-author), "Selected Legal Issues of E-Commerce" (Kluwer Law International, 2002, co-author). He received LL.M. from University of London and University of Edinburgh (with Distinction), and LL.B. from University of Tokyo.



Paul Chow

*Chief Executive
Hong Kong Exchanges and
Clearing*

Paul Chow was appointed Chief Executive of Hong Kong Exchanges and Clearing Limited (HKEx) on 1 May 2003.

Before he joined HKEx, Mr. Chow was the Chief Executive, Asia Pacific ex-Japan Region, of HSBC Asset Management (Hong Kong) Limited for 6 years from April 1997 to April 2003. From November 1991 to January 1997, Mr. Chow was the Chief Executive of the Stock Exchange of Hong Kong Limited and before then, he was the Chief Executive of Hong Kong Securities Clearing Company Limited for 2 years.

Mr. Chow is currently a member of the Standing Committee on Company Law Reform and a member of the Council and Court of the University of Hong Kong. He is also the Vice-Chairman of the World Federation of Exchanges.

Mr. Chow holds a B.Sc. degree in Mechanical Engineering, a Diploma in Management Studies and an MBA degree from the University of Hong Kong, and a Diploma in Finance (Distinction) from the Chinese University of Hong Kong.



Atsushi Saito

*President and CEO
Tokyo Stock Exchange Group*

Atsushi Saito graduated from Keio University in 1963 then went on to work at Nomura Securities Co., Ltd. for 35 years. In 1986 he was appointed as a Member of the Board. At Nomura, Mr. Saito mainly worked in Treasury and Fixed Income Dealing, overseeing a

broad range of areas from treasury to legal affairs. During his tenure here he served as Deputy President and in many other executive roles.

He has also participated in the planning of the Japanese financial "Big Bang" policy promoted by the Hashimoto cabinet by acting as a member of several governmental deliberation councils.

After retiring from Nomura, Mr. Saito served successively as President, then Chairman of Sumitomo Life Investment Co., Ltd. In April of 2003, he became president of the Industrial Revitalization Corporation of Japan.

Mr. Saito was appointed President and CEO of Tokyo Stock Exchange, Inc. in June of 2007, and in August of the same year became the first President and CEO of Tokyo Stock Exchange Group, Inc.



Kotaro Yamazawa

*Senior Executive Officer
Osaka Securities Exchange*

Kotaro Yamazawa has served as the Senior Executive Officer in charge of Business Development of the Osaka Securities Exchange Co., Ltd. In this capacity, he is responsible for all planning issues, including Corporate Affairs, Product Design, Derivatives Marketing,

International Affairs and Business Alliances with foreign and domestic exchanges. Mr. Yamazawa also has served as a member of the Study Group on the Internationalization of Japanese Financial and Capital Markets, which is organized by the Japanese FSA.

Prior to joining the OSE, he worked for the Bank of Japan and held various positions such as General Manager of the Hakodate Branch, Chief Manager of the Personnel Department, and Deputy Chief Representative of the Hong Kong Office.

Mr. Yamazawa joined the Bank of Japan after graduating from the Faculty of Law, University of Tokyo. He holds an MBA from the Wharton School of Finance, University of Pennsylvania and has written several books about the Recent Development of Chinese financial Systems, Future Prospects for a Rating Agency, and the Basic Theory of Finance for business executives.

Speaker biographies



Takehiro Arai

Board Member
**The Accounting Standards
Board of Japan (ASBJ)**

Takehiro Arai joined ASBJ as a full-time Board Member in June 2007 and is in charge of several technical committees as the chairman (Financial Statement Presentation, SPE, Retrospective Application, etc.)

He entered Tokyo Stock Exchange (TSE) in 1980. In 1999, he became Chief Listing Examiner of the Listing Examination in TSE. From 2003 to 2006, he was seconded to the ASBJ from the TSE, as the project leader of Accounting standard on the Quarterly Financial Reporting, etc. In 2006, he worked as a Director of the Public Relations in TSE.

He is a Certified Public Accountant as well as a Chartered Member of the Security Analysts Association of Japan.



Hideki Kanda

Professor
University of Tokyo

Hideki Kanda is Professor of Law at the University of Tokyo. His main areas of specialization include commercial law, corporate law, banking regulation and securities regulation. Mr. Kanda served as Visiting Professor at the University of Chicago Law School in 1989,

1991, 1993 and 2006 and Visiting Professor at Harvard Law School in 1996.

Mr. Kanda is currently the chairman of Self-regulation Board at the Japan Securities Dealers Association and chairman at the Advisory Group on Improvements to the Listing System at the Tokyo Stock Exchange. He is also chairman of two study groups, the Corporate Value Study Group and the Corporate Governance Study Group, at the Ministry of Economy, Trade and Industry.



Kiyotaka Sasaki

*Director, Strategy and
Policy Coordination Division*
**Securities and Exchange
Surveillance Commission (SESC)**

Kiyotaka Sasaki joined the Ministry of Finance in 1983. He has a number of experiences in financial sector supervision and capital market oversight. After the creation of Financial Services Agency (FSA)

in 1998, he was responsible for addressing non-performing loans problem of Japanese banks through developing risk-based approach of on-site examination as well as enhancing cooperation with supervisory bodies overseas. Since 2005, he worked as Director of Enforcement Division at SESC, responsible for addressing high profile cases of market misconducts. In his current post, he is responsible for developing strategy and policy of the SESC, resource management, and external relations including overseas regulators, self regulatory organization as well as outreach to the public.

He has also lots of experiences in international front, including working experiences at OECD and IMF responsible for financial sector assessment of member countries. He joined lots of discussions at international forums including Basel Committee for Banking Supervision, IOSCO, FATF, and G-7 financial sector expert meeting. He holds a Law degree from Tokyo University (1983).



Hiroaki Niihara

Director
**Corporate System Division,
Economic and Industrial Policy Bureau**
**Ministry of Economy,
Trade and Industry**

Hiroaki Niihara is Director of Corporate System Division in METI (Ministry of Economy, Trade and Industry). He joined METI in 1984 after graduating from Department of Economics, University of Tokyo. He

became Director of Information industry and Economy Division in 2002, Director of Cultural related industry Division in 2004, and the current position in 2007.

While serving for METI, he studied in PhD course of Department of Economics in University of Michigan (1992 – 1994), and stayed in Department of Economics in Harvard University as Visiting Fellow (2006 – 2007). Currently Mr. Niihara is a visiting professor of Waseda Law School.

He wrote several books and essays on the various aspects of Japanese industries. One of his masterpieces is "Research on Japanese excellent companies" in Japanese (2003, Nikkei).

Speaker biographies



Peter Wong
*Managing Director
and Chief Executive*
Taifook Securities Group

Peter Wong possesses over 30 years of experience in the financial services industry. He was awarded Director of the Year 2002 under the "Listed Company Executive Directors Category" organized by the Hong Kong Institute of Directors.

Mr. Wong is the Chairman of The Hong Kong Institute of Directors. He is the Director and a member of Corporate Advisory Council of Hong Kong Securities Institute, a member of the Share Registrars' Disciplinary Committee of the Securities and Futures Commission of Hong Kong as well as a member of Professional Services Advisory Committee of the Hong Kong Trade Development Council.

Mr. Wong was a listing committee member of The Stock Exchange of Hong Kong Limited, a member of Standing Committee on Company Law Reform. He also served various committees and working groups for the Securities and Futures Commission of Hong Kong. He was the Founding Chairman and is now the Vice Chairman of The Hong Kong Association of Online Brokers.



Yasuo Kuramoto
Director and Vice Chairman
Fidelity Japan Holdings K.K.

Yasuo Kuramoto is Director and Vice Chairman of Fidelity Japan Holdings K.K. He started his career at Daiwa Securities Co., Ltd. after graduating from Waseda University (Political Science and Economics) in 1959. In 1969, he began to work at Fidelity

Management and Research Company as a security analyst. In 1980, he became Representative Director and President of Fidelity Japan Limited. In 1988 he became Representative Director and Vice Chairman, and stayed at the same position even after the firm was merged with Fidelity Investments Japan Limited in 1989.

He became Director and Vice Chairman in 2002, and took the current position in 2005.

He served as an external Director of Tokyo Stock Exchange, Inc. during 2002-2006.

Mr. Kuramoto is a Chartered Member of the Security Analysts Association of Japan, and author of several books on asset management and securities investment such as;

- "Intelligent Investing" Publisher - Keizai Horei Kenkyukai
- "Asset Management in the 21st Century" (Co-Author) Publisher - Progress K.K.



Orlando Faulks
*Managing Director,
Head of Global Markets Research*
Deutsche Securities

Orlando Faulks is a Managing Director and Head of Global Markets Research in Deutsche Securities Inc. Previously he worked in Equity Sales Department and became co-Head of Japanese equity sales.

Prior to joining Deutsche Securities in 2004, he headed European Equity Sales Department during his first year in ING Securities (Japan) Inc., and then worked as a Japanese equity salesperson (Vice President) for 3 years. He was voted Number 1 Japan Equity Salesman in poll by Asia Money Magazine in 2003 and Number 2 in 2002.

Mr. Faulks started his career in Nikko Asset Management as Fund Manager of European Equities.

He graduated Edinburgh University with MA Honors in Japanese. He studied also in Faculty of Economics of Seikei University (Tokyo) for 2 years.



Peter Eadon-Clarke
Director
**Macquarie Capital Securities
(Japan)**

Peter Eadon-Clarke is the Director of Strategy of Research Department in Macquarie Capital Securities (Japan) Ltd.

Before joining Macquarie, Mr. Eadon-Clarke was Chief Investment Officer (CIO) and Director of UBS (Trust and Banking) Limited (Tokyo) for 3 years.

Previously he worked as CIO and Senior Executive for Sumitomo Life Investment, Tokyo (1999-2001), as Advisor for Sumitomo Life Asset Management, Tokyo (1998-1999), and as CIO and Director of Pacific Basin for LGT Asset Management, Hong Kong (1992-1998). Prior to joining LGT, he had experienced several positions during 11 years in Wardley Investment Services in Hong Kong and Tokyo.

He graduated from Emmanuel College of Cambridge University in 1980, and started his career with Colonial Mutual Life Assurance (London).

Speaker biographies



King Au

*Chief Executive Officer
FRM Hong Kong*

King Au joined the Financial Risk Management Group as CEO of FRM Hong Kong in September 2008. He is responsible for the FRM Group's fund of global hedge funds business in Asia ex Japan and Korea. Previously, Dr. Au held senior management positions at

HSBC Global Asset Management (Hong Kong), GMO (Hong Kong) and Baring Asset Management UK.

Dr. Au serves on a number of public committees and tribunals. He was Chairman of the HK Securities Institute from 2006 to 2008 and Chairman of HK Investment Funds Association between 2003 and 2005. In July 2008, Dr. Au was awarded the Medal of Honour (MH) by the HK SAR Government for his valuable contributions to the securities and asset management industry.

Dr. Au holds a BA in Physics from Oxford University and a PhD in Theoretical Particle Physics from Durham University. He is also a Chartered Financial Analyst and a Fellow of the HK Securities Institute.



Shigeru Ishida

*Senior Executive Officer,
Head of Asia & Oceania
Daiwa Securities SMBC
Chairman
Daiwa Securities SMBC
Hong Kong*

Shigeru Ishida received his Bachelor of Economics degree from Kobe University and has over 30 years of experience in the financial industry.

Mr. Ishida joined Sumitomo Bank Ltd. in 1974 and has since served in senior management roles in the New York, Tokyo and London offices, as well as the Asia Pacific region offices, of Sumitomo Mitsui Banking Corporation and Daiwa Securities SMBC, where he is mainly responsible for corporate finance and key client management functions. From April 2001 to April 2005, Mr. Ishida was the General Manager of the Global Client Business Department of Sumitomo Mitsui Banking Corporation. From April 2005 to April 2006, he was the Executive Officer of the International Finance Department of Daiwa Securities SMBC. In April 2006, Mr. Ishida was appointed Head of Asia & Oceania of Daiwa Securities SMBC.

About the organisers



JSDA is a hybrid association functioning both as a self-regulatory organization (SRO) and as a trade association in the Japanese securities market. JSDA's more than 500 members consist of securities firms and other financial institutions operating securities businesses in Japan.

As a full-fledged SRO, JSDA extensively regulates market intermediaries. Its self-regulatory functions encompass rule-making, enforcement, inspection, disciplinary actions, accreditation of sales representatives, and dispute mediation.

As a trade association, JSDA relays the voice of the industry to the government and other related parties, conducts and promotes investor education to expand the base of knowledgeable investors, and implements various research and studies to generate policy recommendations for further activating the market.



Hong Kong Stockbrokers Association

Hong Kong Stockbrokers Association (HKSA) is a non-profit making industry Association founded in 1978. Currently, HKSA has over 1,100 members from some 350 brokerage firms, representing more than 70% of the stockbroking business community in Hong Kong.

The Association was formed to represent the interests of the industry, and to this end we have worked closely with the Stock Exchange, the Securities and Futures Commission (SFC) and the Government for the betterment of the market as a whole. In assessing issues concerning the market, we have represented the industry's views during the drafting of the Securities and Futures Ordinance, and in the subsequent implementation. Our consultation and advice has been constantly sought by the relevant authorities on the workings of the market, to ensure legitimate interests and concerns of the market participants are taken into consideration in the formulation of policies or regulations. The Association is also accredited by the SFC to conduct Continuing Professional Training courses.

To promote development and seek business opportunities for the Hong Kong financial market, we always participate in official government delegations to promote Hong Kong Financial Services to many mainland cities. In addition, as part of Hong Kong's drive to internationalize our financial markets, we represented the Hong Kong Financial Services Industry in visits to Russia, Kazakhstan, Saudi Arabia, United Arab Emirates, India, Slovenia, Austria, the Czech Republic and Vietnam. We also organize international functions and invite participants from various countries. We recently hosted the Asia Securities Forum in September 2008 and 15 Asian countries participated in the Forum.

Japan Securities Dealers Association (JSDA)

Address: 1-5-8, Kayabacho, Nihonbashi, Chuo-ku, Tokyo
103-0025 Japan
Tel: +81 3 3667 8537
Fax: +81 3 3666 8009
Website: www.jsba.or.jp/html/eigo/index.html

Contact: Koichi Ishikura
Email: international@wan.jsda.or.jp

Hong Kong Stockbrokers Association (HKSA)

Address: Flat C, 6/F., Shing Lee Commercial Building,
6-12 Wing Kut Street, Central, Hong Kong
Tel: +852 2541 8832
Fax: +852 2541 1368
Website: www.hksa.com.hk

Contact: Sabrina Yu
Email: info@hksa.com.hk

www.japan-securities-summit.jp

会長一任事項の報告 (21. 1. 20～21. 3. 17)

平成 21 年 3 月 18 日
日本証券業協会

1. 金融商品取引業者の加入【2社】

《平 21. 1. 28 承認》

・イーストヒルジャパン株式会社 (加入日：平 21. 2. 1)

《平 21. 3. 17 承認》

・エフエックス・オンライン・ジャパン株式会社 (加入日：平 21. 3. 18)

2. 金融商品取引業者の脱退【2社】

《平 21. 2. 18 承認》

・J P B M 証券株式会社 (脱退日：平 21. 3. 12)

《平 21. 3. 17 承認》

・スタンダード・セキュリティーズ・アジア・リミテッド(スタンダード証券会社)
(脱退予定日：平 21. 3. 19)

3. 登録金融機関の加入【1機関】

《平 21. 1. 28 承認》

・カナダロイヤル銀行 東京支店 (加入日：平 21. 2. 1)

4. 委員会委員の選任

《平 21. 3. 12 承認》

・金融商品取引法のもとでの本協会の自主規制等のあり方に関する特別委員会
古 谷 昌 彦 氏(株式会社 みずほ銀行 執行役員コーポレートファイナンス部長)
(就任予定日：平 21. 4. 1)

《平 21. 3. 12 承認》

・総務委員会
古 谷 昌 彦 氏(株式会社 みずほ銀行 執行役員コーポレートファイナンス部長)
(就任予定日：平 21. 4. 1)

以 上

顧問名簿

(平21. 3. 18)

日本証券業協会

| | | | | |
|-----|---|-----|---|---|
| 安 | 藤 | 俊 | 彦 | (安 藤 証 券 ㈱ 取締役名誉会長) |
| 石 | 井 | 大 | 和 | ((財)日本証券奨学財団 理 事 長) |
| 今 | 田 | | 肇 | |
| 岩 | 瀬 | | 正 | |
| 奥 | 本 | 英 一 | 朗 | (㈱ 大 和 総 研 顧 問) |
| 加 | 藤 | 精 | 一 | (㈱岡三証券グループ 取締役会長) |
| 金 | 子 | 昌 | 資 | |
| 川 | 上 | 達 | 彦 | |
| 越 | 田 | 弘 | 志 | (NPO エイプロシス 投資と学習を普及・推進する会 理 事 長) |
| 斎 | 藤 | 一 | 政 | |
| 齋 | 藤 | 伸 | 雄 | |
| 関 | | | 要 | ((財)日本証券経済研究所 顧 問) |
| 副 | 島 | 忠 | 雄 | (東 海 東 京 証 券 ㈱ 名 誉 顧 問) |
| 高 | 橋 | 厚 | 男 | ((財)日本証券経済研究所 理 事 長) 日本投資者保護基金 理 事 長 |
| 丹 | 野 | 恒 二 | 郎 | |
| 長 | 岡 | | 實 | ((財)資本市場研究会 常 勤 顧 問) |
| 野 | 村 | 菊 | 衛 | |
| 林 | 田 | 悦 | 典 | |
| 原 | | 良 | 也 | (㈱大和証券グループ本社 最 高 顧 問) |
| 宗 | 近 | 博 | 邦 | |
| 村 | 上 | 朝 | 昭 | (㈱ジャスダック・システムソリューション 監 査 役) |
| 保 | 田 | | 茂 | |
| 山 | 崎 | 富 | 治 | (山 種 美 術 館 名 誉 館 長) |
| 山 | 元 | 高 | 士 | |
| ○ 渡 | 辺 | 達 | 郎 | (アラブ首長国連邦 大 使) |

以上25名

(敬称略・五十音順)